

第4期北海道競馬推進プラン（R8～R12）[素案]の概要

- 昭和23年度から競馬事業を開始。これまで約290億円の益金を一般会計に繰出し本道財政に寄与
- 平成4年度以降赤字決算に陥ったものの、様々な改革を着実に実行し、平成25年度から単年度収支が黒字化
- 令和8年度から令和12年度を計画期間とした5か年の中長期的な計画として「第4期北海道競馬推進プラン」を策定

第3期プラン(R3～7)での取組と成果

ヒトの充実

- ・開催期間の増
- ・騎手・きゅう務員の確保
- ・在既促進に係る各種手当の継続

モノの充実

- ・きゅう舎の整備
- ・業務・ファンエリア、住宅の実施設計等

ファンの拡大

- ・全国・南関東圏をターゲットにPR
- ・自治体や企業と連携したイベント開催、無料送迎バスの運行

馬と番組の充実

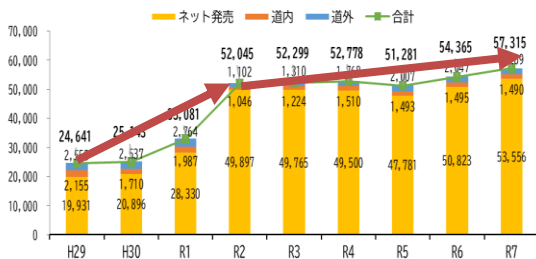
- ・出走頭数確保のための賞金・手当増
- ・騎乗馴致手当の支給、他場重賞遠征輸送費補助
- ・他主催者と連携したJBC競走の実施

サービスの向上

- ・LINE、YouTubeによる情報発信、予想サイトの開設
- ・競馬場や場外発売所の環境改善

■発売額の推移

- ・6年連続で500億円台を確保
- ・令和7年度の発売額は過去最高の573億円



課題

- 経営の安定化・収益確保
 - ・発売額の向上による収益確保
 - ・他競馬との日程重複や売上変動リスクの増

- 競馬人材の確保・育成
 - ・きゅう務員等の人材確保
 - ・職場環境の改善
 - ・馬とのふれあいの場づくり

- 馬資源の確保と魅力ある番組づくり
 - ・調教環境の充実、出走頭数の確保
 - ・魅力的な競走番組の提供

- 施設整備・環境改善
 - ・業務施設・住宅等の老朽化対応
 - ・競馬観戦環境の検討

- デジタル化・情報発信
 - ・SNSや動画配信サービス等による情報発信強化
 - ・迫力のあるレース映像の提供など

- 観光等を通じた地域とのつながりの拡大
 - ・観光や投票等を契機とした地域との継続的なつながり創出

更なる発売向上に向け、次の展開へ

目指す姿

競馬事業の安定運営と馬産地の持続的発展

第4期プラン 今後の展開方向

1 強い馬づくりと競馬番組の充実

- 屋内調教用坂路の活用
- 魅力ある競馬番組の提供
- 馬資源等の確保

2 広報・ファン施策及びサービス向上

- 情報発信の強化によるファン層の拡大
- 発売環境の充実及びデジタルサービスの充実
- ギャンブル依存症対策の推進

3 競馬人材の確保・育成

- 調教師・騎手・きゅう務員の確保
- 外国人材の活躍促進
- 次世代競馬人材の発掘と教育連携

4 ファンの獲得と地域連携による誘客促進

- 門別競馬場と馬産地の魅力発信
- 観光と連携した誘客促進

5 基幹施設等の計画的な整備と地域貢献

- 競馬場施設の計画的な整備の推進
- 地域貢献

